資料１

令和６年１月２２日（月）第３回総合教育会議資料　【企画課】

令和６年度第３回南相馬市総合教育会議について

１　はじめに

（１）第１回・(8/28㈪）第２回（10/24㈫）会議の経過

第１回会議では、令和５年度「全国学力・学習状況調査結果」について、委員の皆様へご報告するとともに、「南相馬市教育の大綱の策定方針」及び「南相馬市第三次教育振興基本計画」の骨子等について、委員の皆様と議論を行いました。

また、「南相馬市教育の大綱」については、「南相馬市教育振興基本計画」をもって代えること、対象とする期間も、教育振興基本計画に合せることで、委員の皆様からご了承をいただきました。

さらに、第２回会議では、市の教育に関する現在の取組状況について、委員の皆様へご報告するとともに、「南相馬市第三次教育振興基本計画（素案）」について、委員の皆様と議論し、「ノー部活デーの実施」や「生涯学習分野の取組強化」など、具体的なご提案等を頂戴しました。

（２）第３回（1/22㈪）会議の目的

本日の会議では、「南相馬市第三次教育振興基本計画」について、令和５年１２月に実施したパブリックコメント手続の結果を踏まえ、計画（案）を取りまとめたことから、本案について委員の皆様と更に議論を深め、より実効性のある計画となるよう、最終案を取りまとめてまいります。

また、市教育委員会として、令和６年度に向けて、現在、当初予算ベースで要求している「令和６年度主要事業」について、委員の皆様へご報告するとともに、具体的な取組内容を基に、委員の皆様と意見交換を行い、今後、より教育現場に即した事業内容とした上で、実施していく考えです。

２　「南相馬市第三次教育振興基本計画（案）」について

（１）パブリックコメント手続実施結果を踏まえた対応

①パブリックコメント手続の実施期間

令和５年１２月１日（金）から１２月２４日（日）まで

②パブリックコメント手続による意見等

意見総数：１５件

意見内容及び意見等に対する対応：別紙資料２のとおり

パブリックコメント手続実施結果を踏まえた修正：なし

③パブリックコメント手続の実施結果を踏まえた計画（案）

資料３南相馬市第三次教育振興基本計画（案）概要版
資料４南相馬市第三次教育振興基本計画（案）

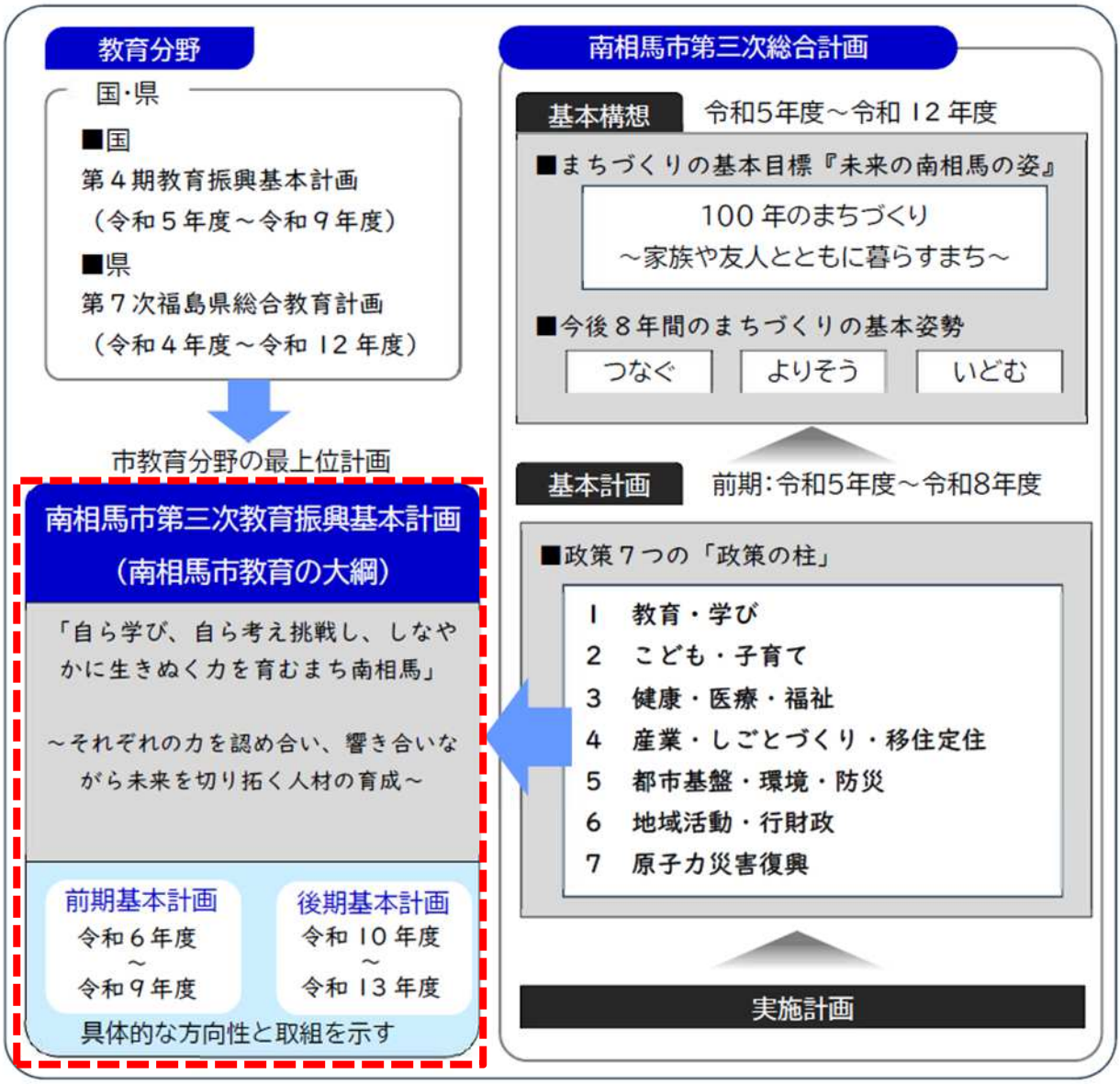
（２）これまでの計画策定経過及び今後の主なスケジュール

本日の会議結果を踏まえ、適宜、「南相馬市第三次教育振興基本計画（案）」に反映した上で、令和６年２月に庁内手続きを経て、市教育委員会定例会に議案として提出します。その結果、議決となった上で、令和６年３月に市議会へ報告するとともに、公表する予定です。

【参考】：「南相馬市教育の大綱」について

「南相馬市教育の大綱」は、第２回会議での「南相馬市教育の大綱」の策定方針を踏まえ、令和６年３月に策定予定である「南相馬市第三次教育振興基本計画」をもって、大綱に代えることといたします。

【計画の位置づけ】



３　令和６年度教育委員会の主要事業について

本日の会議では、令和６年度教育委員会の主要事業について、「令和６年度南相馬市行政経営方針」における「５　重点分野」のうち、政策の柱１「教育・学び」を踏まえ、次の３事業等を中心に委員の皆様と議論させていただきます。

また、第２回会議の中で、委員の皆様から具体的にご提案等ありました内容について、令和６年度に向けて、委員の皆様と意見交換ができればと存じます。

（１）家庭等における学習の充実について

学校教育における教育活動の取組を補完し、基礎学力や活用力の更なる向上を図るため、家庭学習の質・量の充実に取り組みます。

また、受験等を意識した実践的な学習により学習効果を更に高めるため、学習塾と連携するなど、学校や家庭以外での学習機会の拡充を図ります。

※詳細は、別紙「家庭等における学習の充実について」（資料５）参照。

（２）外国語教育推進事業について

市教育委員会では、グローバル化が急速に進展する社会の中で、こどもたちが自らの人生を切り拓くために必要な資質・能力として、外国語教育の重要性が高まっていることから、多様な文化や価値観への理解醸成を図り、これからの未来を生き抜く力を育むため、外国語教育に取り組みます。

※詳細は、別紙「外国語教育推進事業について」（資料６）参照。

（３）国際バカロレア（IB）研究会の設置について

市教育委員会では、こどもたちが未来社会を生きぬくために必要な資質・能力の育成、教育の質及び学習意欲の向上に効果が見込まれると考え、「国際バカロレア（IB）研究会」を設置しました。

※詳細は、別紙「国際バカロレア（IB）研究会」の設置について」（資料７）参照。

（４）その他（第２回会議への対応）

第２回会議で委員の皆様からご提案等ありました、市教育委員会における「ノー部活デーの実施」や「生涯学習分野の取組強化」等については、市教育委員会と市長部局との連携による実施の可能性等も含め、令和６年度において、具体的な検討を進めてまいります。

【参考】：令和６年度南相馬市行政経営方針「５　重点分野」（一部抜粋）

■政策の柱１「教育・学び」

【１．学校教育　②教育水準の向上】

南相馬市復興総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）「全国学力調査（KPI）（※4）」の結果について、小学校、中学校ともに「B」となった。

このため、現在、策定中の「南相馬市教育振興基本計画」の中で、先進自治体（秋田県）を参考に、学校だけの取組だけではなく、家庭・地域・事業者（学習塾等）で何ができるのかを検討するなど、**こどもたちの学力向上に向けた市全体としての取組が必要**。

また、教育水準の向上を図るとともに、**移住の促進や定着等のため、現在、情報収集を進めている「国際バカロレア（※5）」などの導入に向けた調査・研究、検討を進めていくことが必要。**

（※4）KPI 評価区分：A：目標を上回る（達成率１００%を上回る）、B：目標通り（達成率８０%～１００%）、C：目標を下回る（達成率５０%～７９%）、D：目標を大きく下回る（達成率５０%未満）

（※5）国際バカロレア：国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。
国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）は、1968 年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。現在、文部科学省では、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

※詳細は、別紙「令和６年度南相馬市行政経営方針」（資料８）参照。

５　その他（令和６年度南相馬市総合教育会議の開催時期について）

令和６年度の総合教育会議は、年２回の開催を予定しています。１回会議は令和６年８月２３日（金）（予定）とし、前年度決算を踏まえた当該年度の取組と課題等をメインテーマとします。

また、２回会議は、１１月２２日（金）（予定）とし、令和７年度当初予算の計上に向けた具体的な事業等をメインテーマとします。

さらに、いずれの会議開催に当たっては、「市教育委員会定例会」の開催に合わせ、委員の皆様がより参加しやすい日程となるよう、調整させていただきます。

以上